




平成30年1月
東通原子力発電所長
金澤 定男

明けましておめでとうございます。

当発電所の運営につきましては、日頃より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当発電所は、再稼働に向けた新規制基準の適合性審査への対応に全力を挙げて取り組んでいるところです。

去年は、3月の審査会合において、耐震重要施設直下にある3つの断層のうち、1つに活動性がないことが確認されました。残る2つについては、さらに説明が必要とされたことから、5月より追加調査を実施し、評価に必要なデータを充実させ、改めて活動性がないことを説明してまいりました。そして、11月には、原子力規制委員会による現地調査が行われ、当社がこれまで説明してきた内容について現場で確認いただいたところです。

発電所といたしましては、今後の審査がさらに進展していくよう、引き続き、審査への対応に全力を傾注するとともに、安全を最優先に、地域の皆さまから親しまれ、信頼される発電所を目指して、本年も所員一丸となって取り組んでまいります。

つきましては、昨年同様、変わらぬご理解とご厚情を賜りますとともに、益々のご健勝を心よりお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

今年の抱負 ～平成29年度新入社員より～



発電管理課
奥本 毅大
(おつ市出身)

これまでご指導いただいた先輩方に感謝し、生まれ育ったふるさと青森県の発展に貢献できるよう、今年も精一杯頑張ります。



発電管理課
蝦名 洸季
(八戸市出身)

発電所再稼働に向け、率先して業務に取り組み、地域の皆さまに恩返しができるよう、一日一日を大切に頑張ります。



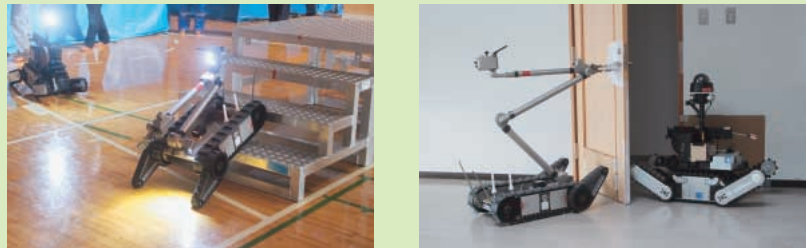
土木建築課
寺嶋 修平
(青森市出身)

先輩たちに少しでも近づけるように、一つ一つの仕事を確実にやり遂げ、仕事に関する知識を増やしていきます。

ロボット操作訓練を実施しました

昨年12月21日、原子力災害を想定したロボット操作訓練を実施しました。

訓練では、遠隔操作が可能な偵察・軽作業用ロボット2台を使用し、災害現場を模した特設コース内の移動走行やドアの開閉作業などを行い、ロボット操作技術の習熟を図りました。



階段昇降やドアの開閉を行うロボットの様子



防護服・全面マスクを着用し、モニター映像を見ながら遠隔操作をする訓練参加者

【訓練に参加して】

モニター映像だけが頼りの操作は、ロボットと障害物との距離感の把握が難しく苦労しましたが、操作者間で積極的にコミュニケーションをとり、課題をクリアすることができました。訓練で掴んだ操作感覚をしっかりと身に付け、技術レベルの向上に努めていきます。



機械保修課 越膳 裕弥

「交通安全大会」を開催しました

昨年12月13日、発電所員および協力会社社員が一堂に会し、冬期間における無事故・無災害の達成を目的として、交通安全大会を開催しました。

大会では、おつ警察署交通課長の工藤諭氏より講話をいただいたほか、事前に募集した安全標語の表彰と参加者全員による安全標語の唱和により、安全意識の高揚を図りました。

最後に、参加者を代表して、鹿島建設株式会社の佐藤諒二氏が安全宣言を宣誓し、発電所および協力会社が一丸となり、無事故・無災害を達成することを誓い合いました。



交通安全講話の様子



全員で安全標語を指差唱和



安全宣言の宣誓の様子